

令和6年度 徳島北高等学校 第1回学校運営協議会 協議概要

1 日 時

令和6年7月8日（月） 午前10時から正午まで

2 場 所

徳島北高等学校 大会議室

3 あいさつ・学校現況説明（向井校長）

4 委員委嘱・自己紹介

5 事務局説明

渡辺教頭が学校運営協議会の概要と徳島北高等学校運営協議会要綱について説明した。

6 役員選出

会長として近藤PTA会長、副会長として向井校長が選出された。

7 授業参観

校舎や学校施設を見ていただきながら、3限目の国際英語科2年生の専門英語の授業「ディベート・ディスカッションⅡ」において、生徒がグループに分かれて英語でディベートをする様子など参観していただいた。

8 協 議

（1）学校経営方針について

向井校長が、令和6年度の学校経営方針等について説明し、承認された。

（2）教育課程の編成について

教務・情報課の野本教務主任が、令和6年度の教育課程の編成について説明を行い、承認された。

（3）学校評価計画について

企画課の北浦課長が、令和6年度の学校評価計画について説明した。

◇委員からの意見

- ・学校評価計画について、今年度の学校教育目標として「生徒の主体性を育む」ことについて取り組むということであれば、どのように主体性を育み、また、評価をするかという視点を持って評価計画を立てると良いと思う。過去には教え込むということが主であったことから、意識改革が必要となるだろう。

- ・生徒を型にはめることから、「自ら課題を見つけよう」など主体的に考える機会を多くするとよい。評価とすれば、遅刻の回数や時間を点検することだろうか。生徒が自ら行動する力を育てなければいけない。
- ・ヘルメットの着用について、県内調査によると中学校ではほぼ100%着用であったが、高校では1割に満たないというが、どうしてこれほど違いが出るのか。自分だけのことで無く、防災の観点からも考えてみるとか、生徒会からの呼びかけを行うなどしてはどうか。
- ・地球市民講座など国際理解について勉強しているということなので、JICA では国際理解教育について、途上国の人々との交流や「世界が100人の村だったら」等体験してもらえる出張講座を行っている、視野を広げるためにも是非活用してもらいたい。
- ・教員の残業時間が多いということで、若い先生方などが心配である。睡眠不足や、生徒を手伝いすぎて先生の時間が無くなってしまふことがあるのではないかな。
- ・評価指標を立てていく必要がある。生徒を含めて考えてほしい。
- ・校長先生が力強く教育方針を語ってくれ、校長先生も教頭先生2人も以前に北高校に勤められた経験があり、学校をよくしたいという思いが学校運営に活かされている。これから主体的な生徒を育てていってほしい。



